

若鷹のごと 翔りゆけ



雄志中学校だより 令和 8 年9月号

雄志中 HP

曲がり角の向こうに見えたもの

校長 黒田 陽子

私は下越にある小さな町に生まれ育ちました。高校進学を考えたとき、一番の課題は学力、そして次は通学手段でした。行きたい高校は隣町にありましたが、親の送迎は難しく、結局地元の高校へ進学しました。夏は自転車、冬は雪道を 50 分歩いて通学する毎日でした。

当時通う高校は普通科 6 学級、被服科 1 学級。同じ中学校の出身者でも隣のクラスでもなければ、顔を合わせることは少なく、テストのたびに順位が発表される時代でした。いつも一緒にいる友人が、必ず私より一つ上にいました。どんなに努力しても追い越せず悔しい思いをしました。今思えば、彼女は早くから看護師という目標を定め、その夢に向かって努力していたのでした。

一方の私は大学へ行きたい気持ちはあっても、何を学び、何になりたいのかははっきりしていませんでした。高校 2 年生の進路面談では、「国公立大学を目指すには厳しい」と言われ、親の勧めで高校 3 年の夏、新潟市の予備校の夏期講習に通いました。多くの受験生と机を並べ、電車で通学した経験は、それまで知らなかった世界を見ることができ、大きな刺激となりました。

興味があったのは歴史や美術、そして女性の生き方でした。昔の人々の暮らしがどのように今の文化へつながってきたのかを知りたいという思いと、「女は損」という幼い頃からの違和感が重なり、もっと学びたいという気持ちが強くなりました。研究者や教師になりたいというより、「知らないことを知りたい」という思いが大学進学の前動力でした。

しかし当時は、「女の子が大学へ行くと婚期が遅れる」といった考え方も根強く、父は東京の大学への進学に猛反対しました。それでも母が何度も説得してくれたおかげで、私は東京の私立大学へ進学することができました。

振り返れば、高校時代は父とぶつかり、自分の将来に向き合うという葛藤した時期となりました。そんな私の居場所は図書館でした。仲良くなった司書の先生から「あなたは逆境に強いわね」と言われ、当時は何でそういわれたのかわからず、えっと思いました。巡り巡って、今は私を支える言葉となっています。



人生には何度も曲がり角があります。やりたいことを見つけ、自分の意思で決め、その結果に責任をもつことの大切さを知ったのは、ずっと後になってからでした。その最初の大きな曲がり角で、私を信じ、背中を押してくれた母や先生方の存在は、何よりの幸運だったと感じています。だからこそ今は、子どもたち一人一人が、自分の進路を自分の意志で選び、その一歩を大切に歩んでほしいと心から願っています。

<前期学校評価>

【生徒アンケートの結果】

・ 肯定的評価の割合 80%以上  ・ 数値が他から低いもの 

	No	項 目	1年	2年	3年	全校
自立	1	学習の進め方を理解し、工夫して取り組んでいる。	95.0	85.7	86.8	89.4
	2	計画を立てて学習し、振り返りを行っている。	67.5	71.4	65.8	68.1
	3	分からないことを解決しようとする姿勢がある。	85.0	91.4	86.8	87.6
共生	4	互いの違いを認め、相手の考えを尊重して行動している。	95.0	97.1	97.4	96.5
	5	話し合いや協働的な活動に、意欲的に参加している。	82.5	94.3	89.5	88.5
	6	集団の一員として、責任ある行動をとろうとしている。	85.0	94.3	86.8	88.5
創造	7	自分の生き方や社会との関わりについて考えている。	90.0	88.6	92.1	90.3
	8	学んだことを行動に活かそうとしている。	95.0	100.0	84.2	92.9
	9	よりよい社会や地域づくりに関心をもっている。	87.5	88.6	78.9	85.0
健康	10	自分の生活習慣（睡眠、メディア利用など）を振り返っている。	52.5	74.3	76.3	67.3
	11	より良い生活習慣について考え、行動しようとしている。	72.5	80.0	81.6	77.9
	12	健康について学んだことを、日常生活に活かそうとしている。	82.5	91.4	76.3	83.2

前期学校評価にご協力いただきありがとうございました。結果の概要及び学校課題について、ご報告いたします。結果の詳細及び今後の具体的な対応等については、9月24日に開催される学校運営協議会にて、委員の皆様と協議し、地域・保護者の皆様に報告いたします。

生徒アンケートでは多くの項目で肯定的評価が高かったです。特に【よりよい集団を目指し、主体的にかかわり合い、伝え合う生徒】を目指した「共生」プロジェクト（以下P）、【自己を見つめ社会や地域の発展に寄与する生徒】を目指した「創造」Pの項目は3つともに評価が高かったです。「共生」Pにつきましては、今年度も5月に開催しました体育祭が考えられます。9月実施よりも準備期間が短いなかでも、各軍のまとまりを高めるために、学年を超えての交流があった成果だと感じました。さらに、各学級や生徒会活動等で行っている当番活動等にも多くの生徒が前向きに取り組んでいる様子を随所に見ることができました。「創造」Pにつきましても、社会とのかかわりを深めるために、各学年で行っている総合的な学習を進めております。

自立Pの「計画を立てて学習し、振り返りを行っている」、健康Pの「自分の生活習慣（睡眠、メディア利用など）を振り返っている」項目がどの学年も達成目標を下回っています。普段や定期テストに向けた学習を計画的に進めること、それと合わせて、睡眠やメディア利用等を考えていくことが課題です。学習に対して、工夫して取り組んだり、分からないことを解決したりしている項目が高いことから、学んだ内容の定着に向けて、計画的に学習を進めたり、取組を振り返り、改善したりしていくことが欠かせません。

【保護者アンケートの結果】

	No	項 目	1年	2年	3年	全校
自立	1	学校での学びと家庭の支えにより、子どもは学習方法を工夫しながら取り組んでいる。	65.5	76.5	78.9	72.3
	2	学校の指導と家庭での声かけを通して、子どもは計画的に学習し、振り返りを行っている。	62.1	64.7	42.1	56.9
	3	学校や家庭でのかかわりを通して、子どもは分からないことを自分で解決しようとしている。	65.5	76.5	63.2	67.7
共生	4	学校や家庭でのかかわりを通して、子どもは分からないことを自分で解決しようとしている。	65.5	64.7	68.4	66.2
	5	学校での取組や家庭での励ましにより、子どもは学校の活動に意欲的に取り組んでいる。	93.1	88.2	78.9	87.7
	6	学校生活での指導や家庭でのかかわりを通して、子どもは責任ある行動をとろうとしている。	82.8	76.5	84.2	81.5
創造	7	学校での学習や家庭での対話を通して、子どもは自分の生き方や社会との関わりについて考えている。	69.0	64.7	63.2	66.2
	8	学校での学びと家庭での支援により、子どもは学んだことを行動に活かそうとしている。	72.4	58.8	72.3	72.3
	9	学校での取組や家庭での話題を通して、子どもはよりよい社会や地域づくりに関心をもっている。	62.1	64.7	42.1	56.9
健康	10	学校での保健指導と家庭での見守りにより、子どもは生活習慣（睡眠・メディア利用等）を振り返っている。	41.4	52.9	15.8	36.9
	11	学校での指導や家庭での助言を通して、子どもはよりよい生活習慣を身に付けようとしている。	58.6	64.7	47.4	56.9
	12	学校での学びと家庭での支援を通して、子どもは健康について学んだことを生活に活かそうとしている。	58.6	64.7	57.9	60.0

保護者アンケートでは共生 P の「学校での取組や家庭での励ましにより、子どもは学校の活動に意欲的に取り組んでいる。」「学校生活での指導や家庭でのかかわりを通して、子どもは責任ある行動を取ろうとしている。」の項目が肯定的評価が高かったです。さらには自立 P の「学校での学びと家庭の支えにより、子どもは学習方法を工夫しながら取り組んでいる。」や創造 P の「学校での学びと家庭での支援により、子どもは学んだことを行動に活かそうとしている。」の項目も目標に近い値でした。

生徒アンケートの結果と同様に、自立 P の「計画を立てて学習し、振り返りを行っている」、健康 P の「自分の生活習慣（睡眠、メディア利用など）を振り返っている」の項目が目標を下回っています。家の人の目からも、お子さまの普段や定期テストに向けた学習を計画的に進めること、それと合わせて、睡眠やメディア利用等を考えていくことが課題であることが分かりました。

ほかにも「学校での指導や家庭での助言を通して、子どもはよりよい生活習慣を身に付けようとしている。」や「学校での取組や家庭での話題を通して、子どもはよりよい社会や地域づくりに関心をもっている。」の項目が低かったです。

今後、学校では学校保健委員会等の活動を通して、生徒自身がよりよい生活習慣を身に付けていけるよう、取組を進めてまいります。学校での様子を便り等でお伝えするとともに、ご家庭の支援をお願いしていきたいと考えています。

日ごろからの学校教育へのご理解・ご支援に改めて感謝申し上げます。保護者・地域の皆様からの期待や信頼を裏切らぬよう今後も教職員一同努めてまいります。

【自由記述から】

◇学年だよりの来週の予定の表の内容がいまいちわからないので、説明が欲しいです。

- ・予定表の内容がうまく伝わるよう、書き方やレイアウト等を工夫してまいります。
内容にご不明な点がありましたら、ぜひご連絡いただきたいと思います。

◇学年が上がり、(子どもの)生活習慣に乱れが出てきました。自分では改善しようという気持ちはないようです。

- ・睡眠、メディア利用時間等も含めて、生活習慣を整えていくことが、将来自立した生活を送る基礎になると考えています。生徒自身に自らの生活習慣を振り返り、考える時間を取りながら、よりよい生活習慣について考える機会を設けていきたいと思っています。

<2学期がスタートしました>

8月27日(木)から2学期がスタートしました。

1限に体育館で始業式を行いました。少し暑さもありましたが、対面で行いました。始業式では各学年の代表3名が2学期の抱負を述べました。その後、黒田校長から「笑顔」と「ありがとう」を大切にしていくことのお話がありました。

2学期から新しいALTの先生が着任しました。新しいALTはBARNIKEL Hannah Lorice(バーニケル ハナ ロリス)さんです。

8月31日からは3名の学生の教育実習が始まりました。

そのほかにも学校支援プロとして上越教育大学大学院の2つのゼミが雄志中学校に支援に来ています。

(BARNIKEL Hannah Lorice さん→)



<広島平和記念式典に参加～上越市非核平和友好都市宣言事業～>

8月5日から7日まで、3年生の杉浦照芳さんが雄志中学校の代表として参加してきました。現地での学習で多くのことを学び感じてきました。8月28日(金)の4限後に広島平和記念式典中学生派遣事業の活動報告を行いました。その報告では「戦争があったから人間は原子爆弾を作りました。(中略)恨むべきは原子爆弾を作った国や人ではなく、原子爆弾を生み出し、実際に使うに至った戦争というものなのではないでしょうか?」「だからこそ、戦争は絶対にあってはならない」と述べました。



<10月の予定>

- 5日(月)～13日(月) 教育相談
- 9日(金) 上越市教育委員会「部落問題学習、人権教育」支援訪問
- 23日(金) 音楽祭(オーレンプラザ)
- 27日(火) 避難訓練
- 28日(水) 全校歯科検診
- 29日(木) 3年生英検 IBA
- 30日(金) 教育相談研修(職員)

